

声を力に、

経験を 行動に。

動かす町政、開く未来！

前多古町
教育長

きかわ
木川 きみこ

千葉県庁 職員時代

高齢者福祉の推進

● **千葉県高齢者保健福祉計画の策定**（平成23年度、平成26年度、令和2年度）
高齢者が生き生きと自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指した県の計画を3回作成しました。また、各市町村が地域の特性に応じた施策を着実に進められるよう支援しました。

● **千葉県介護度重度化防止推進員の創設**（平成24年度）
高齢者が、要介護状態になったり重度化することを防ぐため、地域で一緒に運動を行う住民を「介護度重度化防止推進員」として養成。県内各地で介護予防の取組みが推進されました。



児童福祉の推進

● **千葉県子どもの貧困対策推進計画の策定**（令和元年度）
子どもたちが、その生まれ育った環境によって左右されることがなく、夢や希望をもって健やかに育つことのできる社会の実現を目指した計画。多古町ほか県内の14市町の小5・中2の子どもと保護者に実態調査を行いました。

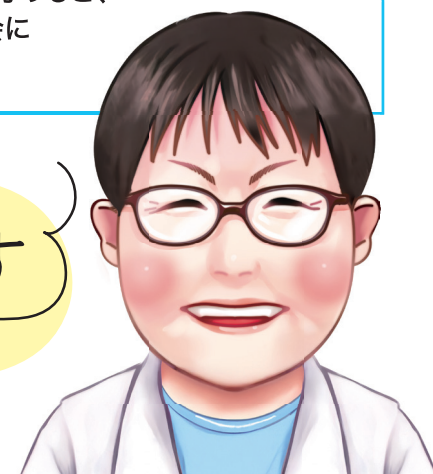


その他

● **地域再犯防止推進モデル事業の実施**（平成30年度）
「千葉県再犯防止推進計画」の策定に向けて、協議会を立ち上げ、法務省のモデル事業を受託し、刑務所出所者等の社会復帰に向けた包括的支援の取組を進めました。

● **ゆめ半島千葉国体のデモンストレーション競技（綱引き）の開催**（平成20年度）
多古町での開催を働きかけました。競技団体の協力のもと、盛会に開催され、町民にとっても思い出に残る大会になりました。

よろしくお願いします
木川きみこです



千葉県職員として**41**年、多古町教育長として**3**年 行政経験と実績をバネに、前へ進める実行力！

多古町 教育長 時代

● ICT教育の推進（令和4年度）

ほぼ活用されていなかった小中学生のタブレット。教員とICT支援員の尽力により、多くの授業で活用が進み、学びの充実につながりました。令和7年度には、久賀小学校が県の「ちばっ子学びの革新推進事業」の検証協力校に指定されました。



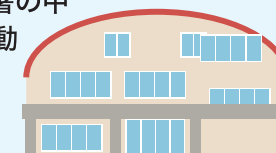
● 児童生徒へのフッ化物洗口事業（令和5年度）

全小中学校で保護者の了承を得て、週に1度フッ化物によるブクブクうがいを実施。先進自治体において、虫歯予防に効果を上げており、町内歯科医師から成果の声がありました。



● 小中学校体育館・町民体育館への空調設備の設置（令和6年度）

当時、県内で全小中学校体育館に空調を整備していたのは、流山市、浦安市のみ。猛暑の中の児童生徒の体育授業、部活動等へ環境整備、避難所としての機能強化につながりました。



● スクールバスの増設（令和6年度）

かねてから要望があった島・林・佐野地区へスクールバスを増設。これにより、遠距離通学の児童の健康と安全の確保が図られ、児童・保護者から感謝の声がありました。



● 多古第一小学校の増築及び学童保育所の整備（令和6年度）

特別支援教室不足と学童保育所の利用者増加に対応するため、小学校の空閑地に2階建て校舎を増築し、令和8年1月の利用を目指しています。町立図書館はスペースが増え、充実が図られます。



● 中村小学校の小規模特認校指定（令和6年度）

「今後の学校のあり方に関する提言書」を受け、多古町教育ビジョンを改定し、久賀小学校と中村小学校は当面存続する方針を明確にしました。また、中村小学校は希望すれば町内全域から通学できる小規模特認校になりました。



ごあいさつ

私は、旧佐原市（現在の香取市）に生まれ、多古町に来て間もなく40年を迎えます。これまで家族や地域の皆様の温かい支えを受けながら、千葉県庁職員として定年まで勤めました。その後は、多古町教育委員会教育長として3年間、町の教育行政の推進に携わってまいりました。

千葉県庁で働いていた頃から、多古町の行政に対しては「あともう一歩が足りない」という思いをずっと抱いていました。そして、実際に教育長として町の行政に関わる中で、職員の皆さんがまじめに仕事に取り組んでいることや、町民の皆さんが穏やかで人柄の良い方ばかりだと感じていました。また、「このままで十分」と感じている、どこか控えめで慎ましい空気が町全体にあることにも気づかされました。

多古町は、成田空港の東隣に位置し、第2の開港プロジェクトや民間による開発が進み、これまでにない大きな転換期を迎えます。町民の多くが、「これでいい」と現状に満足している中、このチャンスを生かして、住んでいる人が **前よりも良くなった！「このほうがいい」と実感するまちづくり** に積極的に取り組みたいと考えています。

思いを施策につなげ、実行力で前よりも一歩、二歩、三歩と確実に前進させ、多古町をさらに魅力ある町へと進化させ、町民のウェルビーイング（幸福）を追求したいと強く思っています。

木川 貴美子

木川 貴美子

1962年（昭和37年）1月29日生まれ

佐原市立新島中学校卒業 / 茨城県立麻生高等学校卒業
日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科卒業

千葉県庁職員として41年間勤務

医療・福祉関係（29年）、農林関係（7年）、職業訓練（2年）
ゆめ半島千葉国体、千葉大会（全国障がい者スポーツ大会）における県民運動（3年）

2022年3月 健康福祉部高齢者福祉課副参事で定年退職

2022年4月～2025年3月 多古町教育委員会教育長

- ・厚生労働省第6期介護保険事業計画策定にかかる検討委員
- ・多古第三小学校 PTA 会長
- ・多古高等学校学校運営協議会委員
- ・社会福祉法人楨の実会運営協議会委員 ・保護司

【家族構成】夫、長男、長女、孫3人（小4、小1、こども園）

【趣味】美味しいもので美味しい酒を呑むこと



ネパール赤十字による歓迎レセプション・1998年
日本赤十字社千葉県支部 ネパール飲料水供給事業
視察団団長として参加

